

# 公式記録

## 平成20年度兵庫県高等学校総合体育大会サッカー競技 決勝【165】

主審 署名	小川 耕司
----------	-------

日時	2008年6月8日(日) 13:02			キックオフ	会場	神戸総合運動公園ユニバー記念競技場					
天候	曇り	風	弱風	ピッチ	芝・クレー	状態	良好・不良・泥沼		試合形式	70分/延長20分 PK戦有	
マスコット	辺見 康裕		会場主任	堀口 泰司		記録	茨木 伸之 / 田坂 昌彦		観衆	2,000人	
主審	小川 耕司		副審1	奥山 恒平		副審2	鶴野 敬二郎		第4の審判員	吉本 忠義	

チーム名	科学技術高校					kick off	1	前半	1	0	後半	1	先	2	先	滝川第二高校					kick off	
背番号						○×																○×

交代 No.	OUT時間	シュート				得点	選手名 (学年)	番号	位置	位置	番号	選手名 (学年)	得点	シュート				交代 No.	
		延後	延前	後半	前半									前半	後半	延前	延後		
							古澤 智也 2年	12	GK	GK	12	岡田 真慶 3年							
							朴 斗翼 3年	5	DF	DF	2	小石 哲也 3年							
					1		堂安 鷹 3年	6	DF	DF	3	中西 隆裕 3年							
							下田 尚平 3年	7	DF	DF	15	中村 勇紀 2年							
							呉島 堂真 2年	20	DF	DF	4	岡本 大輝 3年		1	1				
					1		酒見 成紀 3年	9	MF	MF	9	井上 太志 3年		1					
					1	1	和定 修平 3年	10	MF	MF	14	小巻 航 3年	1	1					58分
							橋田 将吾 3年	14	MF	MF	7	中西 規真 2年				1			
							洞ヶ瀬 太一 2年	18	MF	MF	8	栗本 悠人 3年	1		1				
HT					1		西堀 哲也 3年	11	FW	FW	10	御手洗 海斗 3年							53分
					1	1	伊佐 耕平 2年	16	FW	FW	11	河本 駿 3年		3	1				67分
							谷口 航 3年	1	GK	GK	1	浅野 伸吾 3年							
							若松 宏紀 2年	21	MF	FW	6	時本 寛史 2年							11分
							片山 健二 3年	3	DF	FW	24	大村 亮平 2年							10分
							石井 啓太 3年	4	DF	MF	13	吉澤 春風 3年							14分
							村上 公祐 3年	8	MF	MF	20	矢野 亮 2年							
							竹林 勇 3年	13	FW	DF	18	久良知 英範 2年							
							日置 拓也 3年	15	FW	DF	17	岡村 淳平 2年							
11					1		鷲尾 康介 2年	17	FW	DF	25	矢澤 貴文 2年							
							奥村 謙介 2年	19	MF	DF	5	樺田 拓也 3年							

時間	警・退	No.	氏名	事由	鈴木 利章	監督	梶 裕保	時間	警・退	No.	氏名	事由
					合計	延後 延前 後半 前半	チーム合計	前半 後半 延前 延後	合計			
					9	3 6	シュート	5 4	9			
					11	5 6	GK	7 6	13			
					5	3 2	CK	1 2	3			
					15	11 4	直接FK	3 6	9			
					0	0 0	間接FK	0 1	1			
					0	0 0	(おかけ)	0 1	1			
					0	0 0	PK	0 0	0			

得点経過	時間	チーム	No.	得点者	スコア	[得点経過] 略号例: ドリブル~・コロのパス→・浮き球○・混戦×・ヘディングH・シュートS														
	4分	滝川第二	14	小巻 航	0-1	左 ⑦	○	中央 ⑭	~	S										
20分	科学技術	10	和定 修平	1-1	右 ⑭	○	左 ⑩	~	S											
56分	滝川第二	8	栗本 悠人	1-2	左 24	~	中央 →	⑧	S											
分					-															
分					-															
分					-															
分					-															
分					-															
分					-															

戦評者 所属【 神戸国際大附属高校 】 氏名【 梶村 健二 】

神戸科技・滝二ともに4・4・2の布陣。序盤は、高い位置から組織的にプレスをかけ続けた滝二が、主導権を握る。4分滝川第二は、⑦中西が奪ったボールを素早く逆サイドへ展開し、右サイド⑭小巻にわたり素晴らしいワンタッチコントロールから先制点をあげた。その後、滝二がラインを下げたため、神戸科技がサイド攻撃を繰り返し攻勢にでる。その中で、20分右サイド⑭橋田からサイドチェンジされたボールを⑩和定が決めて1-1でハーフタイムへ。後半序盤は、両チームとも運動量が上がらず、攻め手を欠く場面が多かったが、選手交代によってリズムを掴んだ滝二が、②大村から中央を駆け上がった⑧栗本へつなぎ、冷静に勝ち越し点を決めた。その後は、滝二が中盤でのプレスをかけ続けて運動量でも勝り、インターハイの切符を掴んだ。全体的には、両チームともに、つなぎのパスやフィニッシュの精度に課題が残った。